

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



町田市議会の人事と所属委員会について

令和6年度の第1回議会が始まりました。補正予算などを審議した後に、正副議長選挙があり、議長は木目田英男議員(選ばれる町田会派)、副議長は山下てつや議員(公明党会派)となりました。無所属会派は吉田つとむを適任と考え、2度目の議長を目指して立候補しましたが、少数派で退けられました。

全部の議員がどこかに一カ所所属する常任委員会は、「無所属」では会派代表の松岡みゆき議員は健康福祉常任委員会、新井よしなお議員は建設常任委員会、私は総務常任委員会としました。4年の任期で、前半・後半2年で内部的に変更するルールになっています。町田市議会では、全員がいわゆる「族議員、ボス議員」を作らないための所属交代ルールになっていると解してきました。

第1定例会では、市長の施政方針、令和6年度当初予算案、条例案が提案され、各会派の代表質疑を大会派順に行い、次いで新たな選出されたメンバーによる各常任委員会に付託し、住民請願と合わせて審議します。各議員の一貫質問はその後に実施され、最終日に議案の採決が行われます。



町田市議会はこのスペースが傍聴席になっている

本会議場の映像放映等が更新

市議会本会議場の採決の電子投票システムや会議の映像放映システムが更新され、第1回定例会の冒頭日(2月22日)より活用されました。

町田市議会の本会議の採決方法は賛否ボタンを押すことで決し、それを一覧で表示されるシステムを導入してきました。これまでその表示に時間がかかっていたのですが、今回、瞬時に各議員の賛否状況、賛否数字が表示される改善が行われました。



写真の説明: 試運転で模擬表決した結果

また、「無所属会派」で要望していた議場の傍聴者用の表示モニターの大型化が図られました。同時に、ネット中継をデジタル化することで映像が鮮明化され、かつ、発言をテロップで文字化を図る方式が傍聴者とネットの視聴者の利便性を図るために導入されました。ただし、録画放映ではテロップは表示されません。それは、議会の会議ルールでは、議事録をもって正式の会議記録としており、議会の映像放映は、視聴目的の利便性を優先して導入しているものであるためです。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
第53期生を受け入れ準備中

泡消火器設備発泡事件と関連について

(現在はその含有成分を製造禁止されている)

JR 町田駅の南側にある市営駐車場に設置してある消火設備を不審者が勝手に操作し、泡消火剤を発泡(発砲ではない)させる事件が昨年12月3日に起き、現場を洗浄したところ、それが雨水管を通して、境川に流出したとの説明がありました。その消火剤には、有機フッ素化合物であるペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)を含むものであり、その汚染が懸念されました。

国(環境省)は、50 μ g/1 l (1 l 中に、50ナノグラム)という暫定指針値を決めているところ、昨年12月8日段階で、境橋下流で190 μ g/1 l 、鶴間1号橋で810 μ g/1 l にのぼり、その後も継続して測定し、上記の暫定値に以下に示してきた経過が報告されました。この物質は、米軍基地周辺の井戸で高濃度の値を検出し、その対策ができていないことで知られています。下流で飲料取水は無いですが、関係自治体にお詫びの連絡をしているとのことでした。

その後、施設の洗浄は下水道部が担当し、現地の洗浄廃水は吸引車で吸引し、河川に流出しないように図ったとのことでした。予算上は、指定管理者が費用を町田市に負担し、駐車場管理者(経済観光部)が下水道管理者(下水道部)に負担する手続きの補正予算とされました。



新年度予算の税収に関し減少を見込む(抄)

提出された令和6年度当初予算は、一般会計歳出総額で1792億8243万円(108億5595万円:6.4%増)、特別会計を含めた全会計歳出総額は、3128億3518万円(124億1903万円:4.1%増)であり、物件費や工事費の上昇を見込んだ予算編成としているとのことでした。

歳入:税収では、690億8920万円(△16億2244万円)であり、個人市民税が総額△13.6億円ですが、給与所得者や納税義務者の増加で5.6億円、令和6年度税制改正で定額減税実施による減△19.2億円と見込まれています。

また、固定資産税△2.6億円は、評価替に伴う家屋評価額の減少などによる減のよるものだったというものでした。



写真は、三豊市内のごみのリサイクル施設見学

さらに、事務事業見直しでは、△1億9712万円の削減をしているというものですが、その内容の説明では、「行政関与の必要性、緊急性、費用対効果の視点に基づき、各部における事務事業の見直しを行い、民間活力の導入や行政のデジタル化を進め、事業費を削減し、総業務量を減少させ、人件費の削減を行いました」と予算の概要で記しています。しかし、記載は多分野にわたって大掛かりな事業の取り組みのように見えますが、個別事業の削減額は限られたものに過ぎない金額ではないでしょうか。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年9月末までに105名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。